

は じ め に

「研究物をまとめたいのですが、資料をどう集め、どうまとめたらよいのか困っています。何か適当な参考書はありませんか。」とか、「教育研究の報告書などを読んでも、統計学の知識がないので理解したような気がしません。統計学についての、やさしい入門書はありませんか。」などと聞かれることが多くなりました。

このように、現在、統計学はあらゆる分野に広く活用され、教育関係の書物や研究物・報告書の中にも、この活用例がたくさん見られるようになって参りました。

また、学校においても、統計に関することからは、小・中・高を通して算数・数学の教材として取り上げられており、とくに高校においては、学習指導要領の改訂にともない、確率・統計として独立した選択科目になりました。これも時代の要請によるものであると思います。

しかし、ひるがえって考えてみますと、統計学の参考書は多数出版されていますが、それらは難解すぎたり、反対に物足りなかつたりして、教師にとって手ごろなものはなかなか見あたらないようです。

そこで、当教育センターでは、“誰にでもわかる、役に立つ一冊”というねらいのもとに、統計学の基礎と、その応用例として実験的教育研究法におけるデータのまとめ方を合わせて、「教師のための統計入門—電卓の使い方から検定まで—」として刊行することにしました。

本書を教育の研究に活用していただければ幸いです。

昭和55年10月

福島県教育センター所長 佐藤 信久